

【通常年】 指定管理者評価結果

施設区分
図書館

指定管理者
特定非営利活動法人くりやま

施設担当課
社会教育課

評価期間
令和 4 年 1 1 月 ~ 令和 5 年 1 0 月

【通常年】指定管理者評価結果

●施設担当課分析・評価

・評価すべき点

施設名	内 容
図書館	ミニくりプロジェクトの３事業（ミニくり号学校巡回、司書派遣、学校図書館専門司書派遣）は、子どもたちの読書環境に影響を与える不可欠な事業となっており、図書館司書の努力の成果と考える。ハッピーハロウィンライブラリーを毎年利用者が楽しみにしている事業へと成長させている。職員の仮装、館内の装飾・消灯等、非日常感を演出し来館者を飽きさせない取り組みは大変評価できる。

・改善すべき点、要望点

施設名	内 容
図書館	自主事業である「こどもの日、文化の日特別開館」については、開館することだけで良しとせず別事業とのコラボ企画を立案する等、楽しみに来られる来館者を迎える内容を提案していただきたい。 参加者が低調な「木曜おはなし会」事業は、来るのを待つだけでなく親子が多く利用する他の施設へ働きかけを行う等参加者増に繋げていただきたい。

・総合分析、評価

図書館は静かに本を読む場から、コミュニティスペースとしての役割を求められる施設となっている。 開架スペースの座席数の少ないことは以前から言われていたが、個別での勉強、グループディスカッションの場の確保のため、事業で使用していない時期にはギャラリーに机とイスを設置し利用者サービスを拡充している。 本年５月から全館で飲み物可とし、１１月からはタイルカーペット貼り替えに合わせてギャラリースペースを食べ物も可するなど新しい取り組みを実践している。 今後も利用者ニーズの把握に努め指定管理者らしい事業展開を実施していただきたい。
--

●評価委員意見

・総合評価

【評価すべき点】

- ・町内全小中学校への読書活動の推進など、図書館の役割を地域教育に積極的に結び付けており、図書館の社会的貢献度を高く評価する。
- ・利用者増への取組みとして、移動図書館や電子図書館など、新たなサービスを積極的に取り入れている。
- ・地域住民に対する利便性向上のための取組として飲食可能なコミュニティスペースの開設が行われており、図書館が本を借りるだけでなく、地域住民が気軽に集い交流できる場所としての機能を果たしている。
- ・自主事業の「ハッピーハロウィンライブラリー」は毎年参加者数が伸びており、職員の仮装や館内の装飾など来館者を楽しませる工夫がなされている。
- ・委託事業の「図書宅配サービス事業」は今年度初めて利用実績があり、指定管理者の広報活動が実を結んだ結果として評価する。

【評価できない点・改善及び対応要望点】

- ・自主事業の「こどもの日、文化の日特別開館」は、ただ施設を開館するだけではなく、関係団体と連携するなど創意工夫をして取り組んでいただきたい。

●実績数値等

施設名	区分	利用者数 (総数)	利用者数 (町外利用者)	施設稼働率	委託事業の実施状況		自主事業の実施状況		利用者アンケート		利用料金収入状況	地元発注状況
					事業数	参加人数	事業数	参加人数	サンプル数	利用者満足度		
図書館	基準値※ ¹ ①	19,965人	1,963人	44%								2,992,682円
	目標値②	19,000人			17事業	11,925人	10事業	1,601人				
	実績③	14,156人	855人	54%	16事業	9,801人	11事業	1,666人			0円	2,946,181円
	増減③-①※ ²	△5,809人	△1,108人	10%	-1事業	△2,124人	1事業	65人				△ 46,501円
	基準値対比③/①※ ³	71%	44%	123%	94%	82%	110%	104%				98%

※¹利用者数、施設稼働率の基準値は平成28年度～令和2年度実績の平均値

※²委託事業の実施状況、自主事業の実施状況、利用者アンケートは実績③-目標値②を記載

※³委託事業の実施状況、自主事業の実施状況、利用者アンケートは実績③/目標値②を記載